

事業番号	事務事業名	国民健康保険病院建設計画策定事業	所管課名	総合政策室	令和 3 年度課長名	瀬島 栄史
02260	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	担当者・シート作成者	瀬島 道子
	施策名	11	地域医療の充実	根拠法令等	鏡野町国民健康保険病院改革プラン	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (3 年度~ 4 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	新病院建設にかかる調査研究費。老朽化した現在の病院機能の検証・評価、新たな施設のあり方等を議論する「鏡野町立病院あり方検討委員会」を設置し、運営する。財源の確保、用地関係業務や来年度以降の用地取得や設計が円滑に行えるようにする。	南側病棟は、平成元年に新築移転以降増築を重ね、平成16年5月に北側病棟を整備して、現在では南側病棟に一般病床48床、北側病棟に療養病床は40床ある。南側病棟は築後30年以上経過し、老朽化の影響が診察にでてきている。病院建設事業では少なくとも5年以上の時間を必要とするため、先行投資していく。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	新病院基本構想・基本計画	→	ア	構想・計画	見込			1	1	1
イ		→	イ		実績			1		
ウ		→	ウ		見込					
					実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	委員の意見を取り入れ、より良い基本構想・基本計画にする	→	ア	あり方検討委員会の進捗率	目標			20	80	
イ		→	イ		実績			20		
ウ		→	ウ		達成率			100.0%		#DIV/0!
					目標					
					実績					
					達成率					

③主な活動内容		⑥活動指標		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	あり方検討委員会	→	ア	会議の回数	目標			1	3	
イ		→	イ	事前打合せ	実績			1		
ウ		→	ウ		達成率	#VALUE!	#VALUE!	100.0%		#DIV/0!
					目標			2	6	
					実績			2		
					達成率	#VALUE!	#VALUE!	100.0%		#DIV/0!

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		01 款 04		01 項 01		01 目 01		国民健康保険病院建設計画策定事業					事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		保健衛生総務費		26 01					02260
予算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比	決算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源			477			477	一般財源			128			128	
合計			477			477	合計(A)			128			128	
財源名称							従事正職員人数			2			2	
							延べ業務事務時間			10			10	
							人件費計(千円)(B)			34			34	
	最終予算額		477 千円		予算執行率	26.8%	トータルコスト(A+B)			162			162	
主な支出事業内容(予算)	病院建設計画策定事業報償費					287 千円	主な支出事業内容(決算)	病院建設計画策定事業報償費					36 千円	
	病院建設計画策定事業普通旅費					76 千円		病院建設計画策定事業普通旅費					0 千円	
	病院建設計画策定事業消耗品					26 千円		病院建設計画策定事業消耗品					26 千円	
	病院建設計画策定事業広告費					13 千円		病院建設計画策定事業広告費					12 千円	
	病院建設計画策定事業備品告費					54 千円		病院建設計画策定事業備品告費					54 千円	

事業番号	02260	事務事業名	国民健康保険病院建設計画策定事業	所管課名	総合政策室
------	-------	-------	------------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
津山・英田圏域地域医療構想(医療法第30条14)では、病院の病床の整備をはかるべき地域的単位として区分する区域の設定に関する事項が、コロナ禍以降では大胆な削減案が緩和されつつある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
鏡野町と同じ規模で最近建設したばかりの広島県神石高原町へ病院職員と視察に赴き、調査研究を重ねている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
なし

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 幅広い年齢層の住民の方が、安心して利用できる病院の基本構想や基本計画を、医療関係者・福祉関係者・住民代表者・公募による住民委員等と議論することは、政策体系との整合性に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 へき地医療拠点病院としての責任を担っているという点では、公立病院を建設計画することは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 対象は新病院建設基本構想と計画で、意図は委員の意見を取り入れ、より良い構想と計画を策定することなので適切である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 今後の病院設計の内容次第で十分に向上余地はある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がない <input type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 時代のニーズにあっていない規格の病院ではあるが、稼働中なので職員が創意工夫すればすぐには支障はない。しかし、近隣の個人経営の病院が経営の続行に頭を痛めている状況の中、住民が入院できる病院を選択できる状況にあることは大切である。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 令和4年に基礎調査・基本構想・基本計画・総務省のヒアリング、令和5年に設計、令和6年に工事段階に入る予定であり、方法・手段の改善余地はない。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 病院設計の内容によっては病床数の削減等でダウンサイジングすることによって、設計委託料等の削減余地はある。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 新病院の基本構想・基本計画策定において、鏡野町は会員である自治体病院共済会に策定支援の業務支援を委託しているので、プロフェッショナルと協働で最大のパフォーマンスを発揮できる状況である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 幅広い年齢層の住民の方が利用できる病院の基本構想や計画を策定することは、受益者は町民であるため、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	町民アンケートでは、毎回病院に対する苦情は多く、待ち時間が長く、診療料が少ないという点が改善できるのであれば、政策体系との整合性に結びついており、受益者は町民となるので、公平・公正である。あわせて経営面の強化の検討もしていく。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 あり方検討委員会において、新築建設の有無から建設する場合の病院の規模や用地選定などがある。病院整備の財源としては総務省の補助金を利用し、不足分は過疎債で対応する予定である。津山・英田圏域医療構想との調整を図り、持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドラインに則り、事業を進めていく。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
総務省のヒアリングでの財源確保と、県担当者と地域医療構想において綿密な協議を行っていく。																									